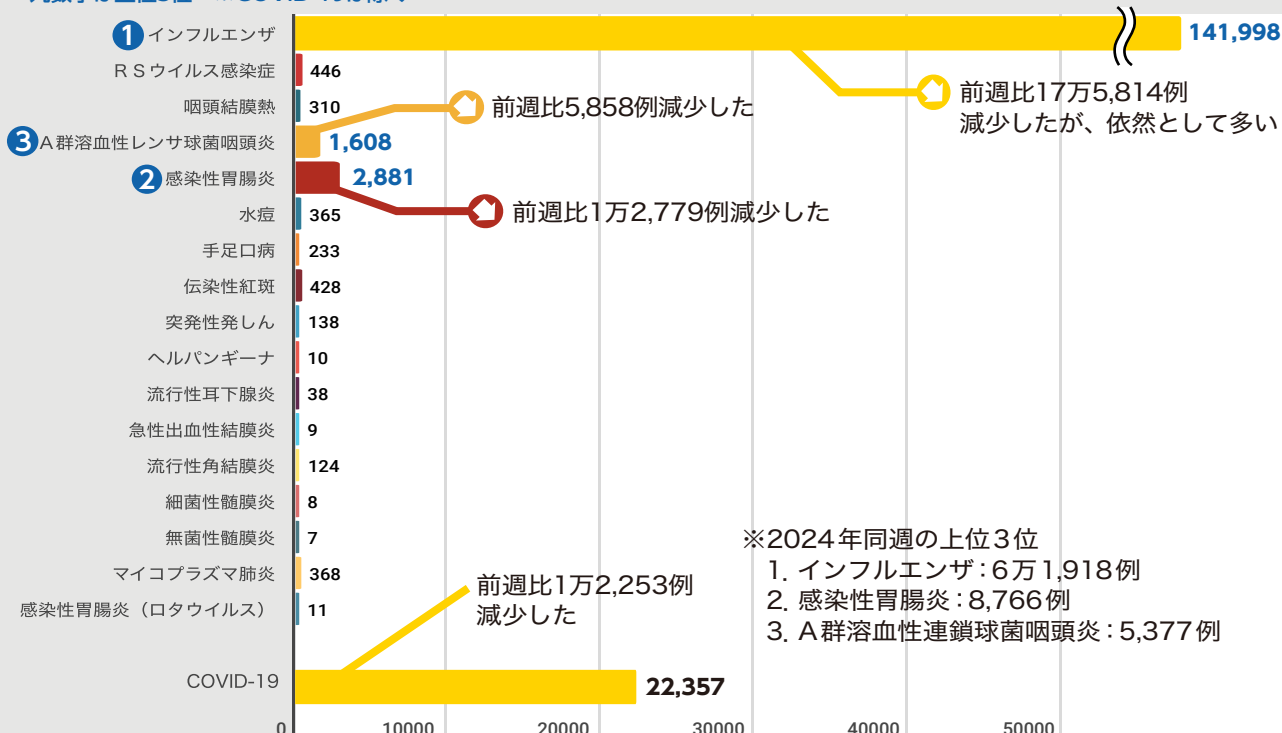




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル定点報告数33.82、警報レベル続く

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

1. 愛知県: 1万914例
2. 福岡県: 7,958例
3. 大阪府: 7,658例

定点当たりの報告数(33.82)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 岐阜県: 70.67 | 4. 大分県: 54.26 | 7. 長野県: 47.92 | 10. 高知県: 46.48 |
| 2. 茨城県: 60.18 | 5. 滋賀県: 52.58 | 8. 熊本県: 47.87 | 11. 埼玉県: 46.07 |
| 3. 愛知県: 55.97 | 6. 鳥取県: 48.72 | 9. 福島県: 46.84 | 12. 島根県: 45.89 |

※その他、18道府県が警報基準値(30.00)超え

②感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 174例
2. 福岡県: 157例
3. 大阪府: 135例

定点当たりの報告数(1.09)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 大分県: 3.64 | 4. 沖縄県: 2.25 | 7. 熊本県: 1.94 | 10. 鹿児島県: 1.76 |
| 2. 愛媛県: 3.09 | 5. 岡山県: 2.20 | 8. 石川県: 1.90 | 11. 鳥取県: 1.63 |
| 3. 福井県: 2.56 | 6. 富山県: 1.96 | 9. 三重県: 1.83 | 12. 岩手県: 1.59 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 茨城県: 179例
2. 北海道: 116例
3. 福岡県: 114例

定点当たりの報告数(0.61)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 茨城県: 2.93 | 4. 山口県: 1.30 | 7. 北海道: 1.10 | 10. 山形県: 0.94 |
| 2. 大分県: 1.44 | 5. 長崎県: 1.27 | 8. 沖縄県: 0.97 | 11. 高知県: 0.84 |
| 3. 新潟県: 1.42 | 6. 愛媛県: 1.13 | 9. 福岡県: 0.96 | 12. 栃木県: 0.82 |

今週の感染症動向

今週(2024年12月30日～25年1月5日)は年末年始に休診していた医療機関があった影響を受け、報告数が減少している。インフルエンザの定点当たり報告数は前週、過去最多の64.39を記録したが、今週も33.82と多く、30道府県で警報レベルの30.00を上回っている。感染性胃腸炎は前週から1万2,779例減少した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も5,858例減少している。COVID-19は1万2,253例減少したが、依然として2万2,357例と多い状況が続いている。定点当たり報告数は岐阜県(13.91)が最も多く、以下、福島県(13.30)、茨城県(12.21)、岩手県(12.05)、北海道(11.65)と続いた。来週以降に年末年始に伴う人流増加の影響が現れる可能性があり、動向に注意が必要である。